

「卒業生調査」に関するご説明

I. 調査の概要について

(1) 本当に関西学院大学がやっている調査なのか？

今回の調査は、関西学院大学社会学部 50 周年記念事業の一環として、記念事業委員会が中心となって、おこなっております。

(2) なぜ私が対象者なのか。

今回の卒業生調査では、約 2 万 4 千名の社会学部卒業生の中から、8000 名の方々に調査をお願いしました。調査にお答えいただく方は、くじびきのような方法でランダムに選んでいます。そのように選ぶことで、卒業生の方々の多様な意見や人生を明らかにすることができます。意図的にあなた様が選ばれたわけではありませんが、卒業生の多様なご意見を知るために、ぜひともあなた様にお答えいただきたいと考えております。ぜひともご協力お願いいたします。

(3) 同窓会名簿を調査に利用するのは、個人情報の目的外利用に当たるのではないか。

同窓会の情報をみだりに目的外で使用することは、「個人情報保護」の観点からも当然ながら慎まなければなりません。

今回、調査をおこなうにあたり、同窓会に事前に相談に伺い、同窓会名簿を調査対象者抽出のための原簿として、この目的に限定して利用させていただくことの可否について、相談いたしました。

同窓会名簿の利用については、「関西学院同窓会の個人情報の取扱いについて」（以下「取扱いについて」）の 2) 名簿の利用目的 の中で、「関西学院同窓会は円滑な運営を図るための事業」に関連する業務に利用できるとしています。また同じく「取扱いについて」の 4) 共同利用 の中で、「上記事業に際して、その目的の達成のために学校法人関西学院との間で双方の保管する個人情報の一部について共同利用」できる、としています。これらの規定を熟慮し、過去においても同様の例もあることから、今回の卒業生調査は、「円滑な運営を図るための事業」に関連する業務に当たると、同窓会と相談の上、判断させていただきました。

以上から、今回の卒業生調査において、同窓会とも相談の上で同窓会名簿を利用させていただきましたことは、個人情報の目的外利用には当たらないと考えております。ご理解を賜りたく存じます。

(4) 個人情報、漏れないのか。

調査対象者名簿については、事務局（社会学部事務室）において一元管理して、情報が漏れないよう細心の注意を払っています。

調査結果については、すべて数値データに変換し、そのデータファイルの使用権を制限した上で厳重に管理・保管します。データには、個人を特定できるような氏名、住所は含まれていません。そのため、調査結果の公表において、個人を特定できる情報が公表されることは決してありません。

II. 調査の内容について

(1) なぜこのような調査をするのか。

この調査には大きな目的が2つあります。

一つは、これまで50年間の関学社会学部の歴史とともに、卒業生の方々はどのような人生を歩んでこられたのかを明らかにすることです。

もう一つは、卒業生の方々の貴重なご意見を伺うことで、これからの関学社会学部の教育、研究をどのように進めていけばいいのか、今後の教育、研究のあり方について考えていくための資料としたいということです。

関学社会学部の学生、および学部教育、研究のために今回の調査はおこなわれます。ぜひとも調査の主旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(2) どうして細かい個人情報を聞くのか。

この調査の大きな目的の一つは、卒業生の方々が在学中どのような生活をし、卒業後どのような人生を歩んでこられたかを調べることにあります。そのように調べた結果を、現在の在校生、あるいは今後入学してくる学生に対して、卒業生のキャリアや人生のさまざまなありようを示していくことで、彼らのキャリア形成や人生設計に役立ててもらいたいと考えています。また関学社会学部での勉学や学生生活がその後のキャリアや人生にどのように影響したのかを明らかにすることで、現在および将来の社会学部の教育、研究のあり方を探っていきたいと考えています。そのため、さまざまな経験をされている卒業生の方々の、できるだけくわしいキャリアの経歴を知りたいと考えております。

なにとぞ、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。

(3) なぜ親のことまで聞かれるのか。

今回の調査では、大学入学前から入学時までの、卒業生の生活についても調べたいと考えています。それは、どのような方々が本学に入学されてきたのかを明らかにすることによって、今後の大学の教育への指針、あるいは学生への支援の可能性について考えるためです。あなた様の親御様についてお尋ねするのは、本学入学前の生活状況や家庭環境を知るためであり、卒業生の方々の入学前、在学中、卒業後の生活の全体を明らかにしていくために必要であると考えております。

(4) なぜ配偶者のことまで聞かれるのか。

今回の調査では、卒業生の方々の現在の生活や仕事の状況を知りたいと考えています。そこから、現在の在校生に、卒業後の生活のイメージを持つことを可能とする情報を提供したいと考えています。あなた様の配偶者についてお尋ねするのは、あなた様のご家族を含めた現在の生活のありようを知るために必要であると考えたためです。

(5) 問 27 の質問の意図は何か

卒業生調査では、大学時代の友人、知人がその後の人生においてどのような関わりを持ってきたのかについて、明らかにしたいと考えています。関西学院大学では、同窓会組織が全国的に活発に活動しており、卒業生のつながりや愛着心は強いと考えられています。しかし実際卒業生同士のつながりが現在どのようになっているのかが明らかとなっているわけではありません。そのために今回の調査では、さまざまな職業に就いている方々との交友関係という観点から、頼み事ができるかという質問により、卒業生とのつながりを明らかにし、交友関係が生活の中でどの程度助けとなってきたのかを明らかにしたいと考えています。頼み事ができるかどうかのみで、交友関係をすべて明らかにすることはできませんが、卒業生の方々の間にある助け合うことのできる交友関係の一端を知ることができると考えています。そこから、大学を通じたネットワーク、交友関係の重要性について明らかにしていきたいと思えます。

また、さまざまな領域で活躍されている卒業生の方々が、現在どのような方々とのつながり(社会関係資本)をお持ちであるのかを明らかにしたいと考えています。それにより、関学社会学部卒業生の現在の社会的地位、立場、状況を知ることができ、それにより、現在の在校生に対して、卒業後のキャリアやキャリアとともに形成されていく人間関係について情報を提供できると考えています。

Ⅲ. 調査の結果について

(1) 調査の結果は、知ることができるのか。

調査の進捗状況や調査結果(2010年4月以降の予定)については、随時ホームページ上に公表していく予定です。

(2) 調査終了後、調査データはどのように保管されるのか。

データは事務局(社会学部事務室)が責任をもって保管、管理します。調査票の原票は施錠できる場所に保管し、部外者に閲覧されることがないように入室の管理を徹底します。

データの利用については、社会学部の教育、研究に利用し、それ以外の目的で利用することはありません。